

スコープ記述書

プロジェクトマネージャ及び組織 ※〇〇部〇〇課 〇〇〇〇氏 ※構築した●●●●における運用責任者。	プロジェクトの対象範囲或いは範囲外 ※個人情報漏洩に関する対応体制は既に整備されているため、 ●●●●は直接対応することではなく、その支援をすること。
プロジェクトの概要 ※会社全体としてのインシデント対応体制の整備の必要性。 ※特に、各部署の跨る、及び、外部要因によるインシデントに対する対応能力をつける。	
プロジェクトの達成目標 ※インシデント対応を専門にするチームを構築し、従業員に周知する。	前提条件 ※各事業所内で発生するインシデント対応に関する計画は、既に存在している。 ※システム及びネットワークに起因するインシデントに対する技術は、システム部門が主に担当する。
主要なマイルストーン ※〇月末までに、●●●●に関する勉強会を終了。 ※〇月末までに、●●●●に必要な社内の情報収集及びとりまとめが完了。 (関連する情報収集に関する文書の完成) ※〇月中旬までに、●●●●記述書を完成させる。	制約条件 ※組織内●●●●にかかる作業場所は、機微な情報を扱うため、2階の小会議室を使用すること。 ※打ち合わせの頻度は2週間に1度のペースで実施すること。
	その他(リスク等) ※経営層から正式な了承を得ることができるかどうかの確認がない。